

岐阜県養護教諭会会誌

第 3 5 号

令和 5 年度

岐 阜 県 養 護 教 諭 会

あ い さ つ

岐阜県養護教諭会
会長 渡部 美佐

令和5年度、本会誌第35号を4年ぶりに発行できたことをうれしく思います。

今年も地震をはじめとする自然災害が世界の各地で発生し、ロシアのウクライナ侵攻は終息を見ません。パレスチナ問題も再び戦争状態となり、犠牲者が増え続けています。1日でも早く平和で安全な生活を取り戻せるよう祈ります。

令和2年2月、新型コロナウイルス感染が日本国内でも確認され、時の内閣総理大臣は学校活動の停止を宣言しました。令和元年度の教育のまとめや新年度へのつなぎの重要な時期に、私たちは突然、教育を停止しなければなりませんでした。

家庭学習期間をはさみながらも、学びを継続し、登校する児童・生徒を守るため、私たち養護教諭は、科学的根拠に基づいた感染予防対策となるよう、先頭に立って活動してきました。定期健康診断は感染流行の状況を見ながら実施することになり、事後指導についても苦慮しながら取り組んできました。他方で、感染症対策のために国から予算が付き、教室の換気扇を設置することができた学校や手洗い場の少ない高等学校では水栓を増設した学校もありました。

以前からインフルエンザの流行期に全国の養護教諭が訴えてきた、手洗いや手指消毒、換気、マスクの着用などの感染症対策は、国を挙げての大きな社会実験となり、これらの有効性を皆が体験することができました。しかし、新型コロナ以外の感染症の免疫も低下させ、感染予防対策が緩和された現在、いろいろな感染症が大流行する状況となっています。また、不登校の児童・生徒数が最も多くなるなど、コロナ禍の閉塞的で我慢を強いられた生活の影響は、今しばらく注視していかなければ

なりません。

さて、私たちの会に話を戻しましょう。

令和4年度は流行の波がある中、小・中学校の地区代表の皆さんの努力により、コロナ禍で主流となったWEB会議システムを利用し、一部の地区を除き地区別交流会を開催しました。画面越しではありましたが3年ぶりに校種の異なる先生方と顔を合わせ、コロナ禍の苦労を労い合いながら、学びを新たにす機会となりました。

そして今年、ようやく集合しての地区別交流会を開催することができました（1地区のみWEB交流）。新型コロナ流行前の令和元年度の本会で、夏の講演会と地区別交流会の実施順を3年1クールに変更することを決定した後、初めて高校・特別支援学校が中心になって実施しました。また、講演会を持たず、意見や情報の交流のみを時間いっぱい行う会にしてもよいのではないかと申し送りを実現させた地区もありました。その地区では、「小・中学校で、どのくらいの知識や情報を伝えておくと、高校生になったときに学びが深まりますか？」との質問があり、小学校から高校まで学びの継続を意識した交流が行われ、高校籍の養護教諭は、学びの未来を見据えて取り組んでくださっている小・中学校の養護教諭の皆さんの意識の高さに刺激を受け、送ってくださった大切な生徒を、健康で安全な生活を送ることができる大人に育てる責任を改めて自覚する機会となりました。

岐阜県養護教諭会は岐阜県内の養護教諭が小・中・高等学校・特別支援学校の垣根を越えて集う、大変有意義な会です。今後も、県内の児童・生徒の健康な育ちに寄与できるよう、互いに学び合い、力を合わせていきましょう。

目 次

あいさつ

岐阜県養護教諭会会則	1
令和4年度事業報告・会計報告	3
令和4年度全国養護教諭連絡協議会研究協議会参加報告	5
令和5年度役員名簿	6
令和5年度事業計画・予算	7
令和5年度地区別交流会報告	9
令和5年度中部ブロック養護教諭会代表者会報告	20
中部ブロック養護教諭会代表者会規約	21
令和5年度全国養護教諭連絡協議会研究協議会参加報告	22
令和5年度事業報告・会計報告	23
岐阜県養護教諭会の歩み	25

岐阜県養護教諭会会則

第1章 名称および事務局

第1条 この会は、岐阜県養護教諭会（以下『本会』という）という。

第2条 本会の事務局は、会長の所属する学校におく。なお、本会の所在地は事務局と同一とする。

第2章 目的

第3条 本会は、岐阜県養護教諭各部会の連絡連携をはかり、養護教諭の自主的研究と経験の交流を通して学校保健の向上に寄与することを目的とする。

第3章 事業

第4条 前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- 1 幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校の養護教諭の交流と連携をはかる。
- 2 学校保健に関する調査研究。
- 3 会誌・会報の発行。
- 4 その他、本会目的達成のための事業。

第4章 組織

第5条 本会は、岐阜県小中学校教育研究会養護教諭研究部会及び、岐阜県高等学校教育研究会保健部会養護教諭部会をもって構成する。

第6条 本会は、各部会を地区別に分け、連絡・連携をはかる。

幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校

1 岐阜 2 西濃 3 美濃 4 可茂 5 東濃 6 飛驒

高等学校・特別支援学校

1 岐阜 2 西濃 3 中濃 4 東濃 5 飛驒

第5章 役員

第7条 本会は、次の役員を置く。

1 会長：1名 2 副会長：1名 3 理事：地区代表 11名

4 書記：2名 5 会計：2名 6 監事：2名

第8条 役員は、次の方法で選出する。

- 1 会長・副会長は、各部会の長をもってあてる。
- 2 理事は、各部会より選出する。
- 3 書記・会計・監事は、各部会より選出する。

第9条

- 1 会長は、本会を代表し、会務を総括する。
- 2 副会長は、会長を補佐し、会長事故ある時は、その責務を代行する。
- 3 理事は、各部会の連絡・連携にあたる。
- 4 監事は、本会の会計の監査にあたる。

第10条 役員の任期は1年とする。但し、再任を妨げない。役員に欠員が生じた時は、第8条に定める方法により補充する。その任期は、前任者の残留期間とする。

第6章 会 議

第11条 本会は、次の会議をおき、会長はこれを招集する。

- 1 役員会
- 2 理事会

第12条 理事会は、最高議決機関とし、次の事項を審議し、出席者の過半数の同意を持って決定する。

- 1 予算決算ならびに事業計画に関する事項。
- 2 会期の改正に関する事項。
- 3 役員の承認に関する事項。
- 4 その他、目的達成のための重要事項。

第7章 会 計

第13条 本会の運営する経費は、会員の会費をもってあてる。

- 1 会費は、年額700円とする。
- 2 本会の会計年度は、毎年4月1日から始まり、翌年3月31日をもって終わる。

第8章 補 則

第14条 本会の会則を変更しようとする時は、理事会の審議を必要とする。

付則 この会則は、昭和61年4月 1日から施行する。

平成 3年7月13日より施行する。

平成 7年4月 1日より施行する。

平成21年6月 6日 改正

平成22年4月 1日より施行する。

平成31年4月 1日より施行する。

令和 2年2月 1日より施行する。

令和 5年2月 4日 改定

令和 5年4月 1日より施行する。

令和4年度 岐阜県養護教諭会 会計報告

収入の部

(円)

項目	令和4年度予算額	令和4年度決算額	備考
会費	0	0	
前年度繰越金	370,717	370,717	前年度より繰越
雑収入	5	2	利息
合計	370,722	370,719	

支出の部

(円)

項目	令和4年度予算額	令和4年度決算額	備考	
事務費	会議費	40,000	61,586	旅費・会場費
	通信費	3,000	4,910	切手代・振込料
	消耗品費	1,000	400	コピー代
	小計	44,000	66,896	
事業費	大会交流会費	250,000	126,362	地区別交流会
	会誌印刷代	0	0	
	研修費補助	8,000	65,000	全養連参加補助金 (2月3名内1名はウェブ参加)
	小計	258,000	191,362	
予備費	準備費			
	予備費	68,722		
	小計	68,722	0	
合計	370,722	258,258		

収支決算

(収入) 370,719 - (支出) 258,258 = 112,461

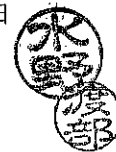
(差引金額) 112,461円を次年度へ繰り越します。

上記の通り報告します。

令和5年4月8日

会計 水野 義美

会計 渡部 美佐



監査報告

本会計が適切に執行されたことを証明いたします。

令和5年4月8日

監査 近藤 亜樹

監査 佐藤 愛



令和4年度 岐阜県養護教諭会 事業報告

日時・会場	事業名および内容	関連事業
4月 9日(土) 10:00～ 関市文化会館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新旧役員引継ぎ (新旧 会計・書記 9:00～) 第1回 役員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度事業報告および会計報告 ・ 令和4年度事業計画案および予算案 ・ 令和4年度以降の岐阜県養護教諭会のもち方について ・ 令和4年度中部ブロック養護教諭部会代表者会について ・ 岐阜県養護教諭会会誌→報告書作成について 	<全国大会/中部> ◆全国養護教諭連絡協議会 令和4年度総会、第24回学 校保健連絡協議会：東京/ 6月18日(土) ◆中部ブロック養護教諭部会 代表者研修会：福井県 WEB開催8月9日(火) ◆東海ブロック学校保健 研究大会：愛知県名古屋市 / 10月13日(金) ◆全国学校歯科保健研究大会 :山梨県/10月20日(木) ハイブリット開催 ◆全国学校保健安全研究大会 :岩手県盛岡市 /11月10日(木)・11日(金) ハイブリット開催
5月21日(土) 10:00～ WEB開催	第1回 理事会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度役員承認 ・ 令和3年度事業報告および会計報告 ・ 令和4年度事業計画案および予算案 ・ 令和4年度以降の岐阜県養護教諭会のもち方について ・ 令和4年度中部ブロック養護教諭部会代表者会について ・ 岐阜県養護教諭会報告書作成について 	◆全国学校保健安全研究大会 :岩手県盛岡市 /11月10日(木)・11日(金) ハイブリット開催 ◆全国学校保健会中央大会 :岩手県/11月11日(金) ◆学校環境衛生・薬事衛生 研究協議会：和歌山県和歌 山市 /11月17日(木)・18日(金) ハイブリット開催 ◆全国養護教諭連絡協議会 第28回研究協議会：東京 /令和5年2月17日(金)
8月 9日(火) WEB開催	中部ブロック養護教諭部会代表者会 (福井県)	
8月	岐阜県養護教諭会 地区別交流会	
12月3日(土) 10:00～ 岐阜市南部コ ミュニティーセン ター	第2回 役員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度事業報告および会計報告 ・ 中部ブロック養護教諭部会代表者研修会報告 ・ 令和4年度地区別交流会実施報告と反省 ・ 令和5年度事業計画案および予算案 ・ 令和5年度地区別交流会の持ち方について ・ 令和5年度以降の岐阜県養護教諭会のもち方について ・ 令和5年度中部ブロック養護教諭部会代表者研修会について ・ 岐阜県養護教諭会報告書について 	◆全国養護教諭連絡協議会 第28回研究協議会：東京 /令和5年2月17日(金) ◇岐阜県学校保健研究大会 :揖斐川町 /11月27日(日) ◇岐阜県学校歯科保健研究大 会：瑞穂市 /11月13日(日) ◇岐阜県学校環境衛生研究大 会 :岐阜県薬剤師会館 /1月22日(日) Zoom (ウェビナー)
2月 4日(土) 10:00～ WEB開催	第2回 理事会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度事業報告および会計報告 ・ 中部ブロック養護教諭部会代表者研修会報告 ・ 令和4年度地区別交流会実施報告と反省 ・ 令和5年度事業計画案および予算案 ・ 令和5年度地区別交流会の持ち方について ・ 令和5年度以降の岐阜県養護教諭会のもち方について ・ 令和5年度中部ブロック養護教諭部会代表者研修会について ・ 岐阜県養護教諭会報告書について 	
2・3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岐阜県養護教諭会報告書 報告 デジタル配信 	

令和4年度全国養護教諭連絡協議会研究協議会 参加報告

1 概要

*新型コロナウイルス感染症感染防止のため、ハイブリッド開催

(参集 200 名、動画配信参加 制限なし)

【開催日時】 令和5年度2月17日(金) 10:00~16:30

【会場】 浅草橋ヒューリックホール 東京都台東区浅草橋1丁目22-16

【動画配信期間】 令和5年3月7日(火)~令和5年4月9日(日)

【参加者】 岐阜県養護教諭会 会長 川島あけみ 会計 渡部 美佐 監事 近藤亜樹子

【主題】 『時代の変化に対応した養護教諭の役割を追求する』

~新しい時代の保健室経営のあり方とは~

【内容】

(1) 特別公演『スマホ時代に養護教諭が知っておきたい事』

講師：兵庫県立大学 准教授 竹内 和雄 氏

(2) 基調講演『養護教諭のさらなる資質向上を目指して』

講師：文部科学省初等教育局健康教育・食育課 健康教育調査官 松崎 美枝 氏

(3) フォーラム『新しい時代の保健室経営のあり方』に関する4つの実践

コーディネーター びわこ学院大学 教授 岩崎 信子 氏

シンポジスト 横浜市立上菅田笹の丘小学校 副校長 徳永 久美子氏

岡山県津山市津山東中学校 養護教諭 石原 亜純 氏

群馬県立下仁田高等学校 養護教諭 中嶋 由佳里氏

埼玉県立越谷西特別支援学校 養護教諭 渡邊 登志子氏

2 報告

(1) 特別公演

- ・養護教諭として、子供たちが抱えているネットに関わる実態を、十分に理解することが大切(ネット利用年齢や男女の違い、ネット依存、ネットいじめ、ネットの危険等)ということで実態調査をもとに詳しく説明があった。常識が子供と大人で違う。
- ・心の支援が必要である。大切なのは心。スマホの問題は、心の問題。日本を変えれるのは養護教諭だ。子供は、ネットをいいと思っていない大人には話すことができない。子供が話せる大人になってほしい。

(2) 基調講演

- ・様々な手引きや、文部科学省のホームページから、ダウンロードできる資料や最新の情報等が多くあるため、内容を確認し、有効活用してください。



(3) フォーラム

- ①『教育課程全体で育成する資質・能力を意識した保健室経営』 【小学校】
 - ②『ソーシャル・ボンドを意識した保健室経営をめざして
—起立性調節障害(OD)の事例から— 【中学校】
 - ③『PDCAサイクルに基づいた保健室経営の実践』
—ICTを活用した他者評価の取組— 【高等学校】
 - ④『養護教諭の連携・協働を生かしたチームとしての充実した取組を目指して【特別支援学校】
—実践の振り返りと”資質の向上に関する指標(育成指標)“を活用した保健室経営—
- ・フォーラムは「連携・協働を進化させた新しい時代の保健室経営のあり方」について①~④の4名の先生方が、子供の健康課題解決を目指して取り組まれた保健室経営の実践発表だった。子供を中心にして、養護教諭は他の教職員や学校医など専門スタッフと連携し、学校において様々な取組を行うとともに、学校や地域における取組を促すことが求められている。そして健康な生活を送るための力を子供に育てていく必要がある。

令和5年度 岐阜県養護教諭会役員名簿

役員	氏名	勤務先	所在地	連絡先
会長	渡部 美佐	大垣北高等学校	〒503-0017 大垣市中川町 4-110-1	TEL 0584-81-2244 FAX 0584-74-8165
副会長	川島 あけみ	岐阜市立白山小学校	〒500-8172 岐阜市白山町 2-1-1	TEL 058-264-6241 FAX 058-264-6242
書記	星野 鮎美	東濃実業高等学校	〒505-0125 可児郡御嵩町伏見 891	TEL 0574-67-0504 FAX 0574-67-6412
書記	稲川 真由美	下呂市立萩原小学校	〒509-2517 下呂市萩原1101	TEL 0576-52-1600 FAX 0576-52-3166
会計	宮井 千浪	関高等学校	〒501-3903 関市桜ヶ丘 2-1-1	TEL 0575-22-5688 FAX 0575-23-7089
会計	各務 貴代子	八百津町立和知小学校	〒505-0305 加茂郡八百津町和知 1227 番地	TEL 0574-43-0510 FAX 0574-43-3666
監事	佐藤 愛	羽島北高等学校	〒501-6112 岐阜市柳津町北塚 3-110	TEL 058-388-3611 FAX 058-388-4939
監事	近藤 亜樹子	岐阜市立加納中学校	〒500-8252 岐阜市加納舟田町 9	TEL 058-271-3577 FAX 058-271-2067
小中学校 理事	岐阜	水谷 理恵子	岐南町立岐南中学校 〒501-6016 岐南町徳田 3-284	TEL 058-273-1052 FAX 058-278-1682
	西濃	澁谷 真紀	養老町立広幡小学校 〒503-1323 養老郡養老町口ヶ島196-2	TEL 0584-32-1620 FAX 0584-32-9739
	美濃	山中 良江	美濃市立牧谷小学校 〒501-3788 美濃市蕨生 2095-3	TEL 0575-37-0005 FAX 0575-37-0030
	可茂	笠嶋 佳子	可児市立東可児中学校 〒509-0236 可児市翠ヶ丘 4-71	TEL 0574-64-2700 FAX 0574-64-2628
	東濃	山田 依里	恵那市立岩邑小学校 〒509-7403 恵那市岩村町 1524-1	TEL 0573-43-2515 FAX 0573-43-3723
	飛騨	山崎 文	高山市立江名子小学校 〒506-0818 高山市江名子町 2838	TEL 0577-32-0534 FAX 0577-37-0616
高校・ 特支 理事	岐阜	堀 恵子	各務原高等学校 〒504-8585 各務原市蘇原新生町 2-63	TEL 058-383-1015 FAX 058-383-7669
	西濃	榊間 彩加	大垣工業高等学校 〒503-8521 大垣市南若森町301-1	TEL 0584-81-1280 FAX 0854-74-9324
	中濃	樹下 佳奈	郡上高等学校 〒501-4221 郡上市八幡町小野970	TEL 0575-65-3178 FAX 0575-65-2078
	東濃	古田 佳保理	多治見高等学校 〒507-0804 多治見市坂上町9-141	TEL 0572-22-4155 FAX 0572-25-1704
	飛騨	中村 祥子	飛騨高山高等学校 (山田キャンパス) 〒506-0058 高山市山田町711	TEL 0577-33-1060 FAX 0577-32-8994

令和5年度 岐阜県養護教諭会 事業計画

日時・会場	事業名および内容	関連事業
4月 8日(土) 10:00～ 岐阜市南部コミュニティセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新旧役員引継ぎ (新旧 会計・書記 9:00～) 第1回 役員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度事業報告および会計報告 ・ 令和5年度事業計画案および予算案 ・ 令和5年度以降の岐阜県養護教諭会のもち方について ・ 令和5年度中部ブロック養護教諭部会代表者研修会について ・ 令和4年度全国養護教諭連絡協議会参加報告 ・ 岐阜県養護教諭会会誌作成について 	<全国大会／中部> ◆全国養護教諭連絡協議会 令和5年度総会、第25回学校保健連絡協議会：東京 ／6月17日 ◆中部ブロック養護教諭部会 代表者研修会：愛知県 ／8月25日 ◆東海ブロック学校保健 研究大会：三重県 ／11月中旬 ◆全国学校歯科保健研究大会 ：大阪府 ／10月19日～20日 ◆全国学校保健安全研究大会 ：兵庫県 ／10月26～27日 ◆全国学校保健会中央大会 ：兵庫県 ／10月27日 ◆学校環境衛生・薬事衛生 研究協議会：広島県広島市 ／10月12日・13日 ◆全国養護教諭連絡協議会 第29回研究協議会：東京 ／令和6年2月 ◇岐阜県学校保健研究大会 ：美濃・飛騨地区 ／10月29日 ◇岐阜県学校歯科保健 研究大会 ：岐阜市 ／11月12日 ◇岐阜県学校環境衛生 研究大会 ：岐阜市・Web ／1月21日
5月13日(土) 10:00～ WEB	<ul style="list-style-type: none"> 第1回 理事会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度役員承認 ・ 令和4年度事業報告および会計報告 ・ 令和5年度事業計画案および予算案 ・ 令和5年度以降の岐阜県養護教諭会のもち方について ・ 令和5年度中部ブロック養護教諭部会代表者研修会について ・ 岐阜県養護教諭会会誌作成について 	◆全国学校保健会中央大会 ：兵庫県 ／10月27日 ◆学校環境衛生・薬事衛生 研究協議会：広島県広島市 ／10月12日・13日 ◆全国養護教諭連絡協議会 第29回研究協議会：東京 ／令和6年2月 ◇岐阜県学校保健研究大会 ：美濃・飛騨地区 ／10月29日 ◇岐阜県学校歯科保健 研究大会 ：岐阜市 ／11月12日 ◇岐阜県学校環境衛生 研究大会 ：岐阜市・Web ／1月21日
8月	岐阜県養護教諭会 地区別交流会	◆全国学校保健会中央大会 ：兵庫県 ／10月27日 ◆学校環境衛生・薬事衛生 研究協議会：広島県広島市 ／10月12日・13日 ◆全国養護教諭連絡協議会 第29回研究協議会：東京 ／令和6年2月 ◇岐阜県学校保健研究大会 ：美濃・飛騨地区 ／10月29日 ◇岐阜県学校歯科保健 研究大会 ：岐阜市 ／11月12日 ◇岐阜県学校環境衛生 研究大会 ：岐阜市・Web ／1月21日
12月2日(土) 関市文化会館 10:00～	<ul style="list-style-type: none"> 第2回 役員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度事業報告および会計報告 ・ 令和5年度中部ブロック養護教諭部会代表者会報告 ・ 令和5年度地区別交流会実施報告と反省 ・ 令和6年度事業計画案および予算案 ・ 令和6年度以降の岐阜県養護教諭会のもち方について ・ 令和6年度講演会について ・ 令和6年度中部ブロック養護教諭代表者会について ・ 岐阜県養護教諭会会誌第35号について 	◆全国学校保健会中央大会 ：兵庫県 ／10月27日 ◆学校環境衛生・薬事衛生 研究協議会：広島県広島市 ／10月12日・13日 ◆全国養護教諭連絡協議会 第29回研究協議会：東京 ／令和6年2月 ◇岐阜県学校保健研究大会 ：美濃・飛騨地区 ／10月29日 ◇岐阜県学校歯科保健 研究大会 ：岐阜市 ／11月12日 ◇岐阜県学校環境衛生 研究大会 ：岐阜市・Web ／1月21日
2月3日(土) 10:00～ WEB	<ul style="list-style-type: none"> 第2回 理事会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度事業報告および会計報告 ・ 令和5年度中部ブロック養護教諭部会代表者会報告 ・ 令和5年度地区別交流会実施報告と反省 ・ 令和6年度事業計画案および予算案 ・ 令和6年度以降の岐阜県養護教諭会のもち方について ・ 令和6年度講演会について ・ 令和6年度中部ブロック養護教諭代表者会について ・ 岐阜県養護教諭会会誌第35号について 	◆全国学校保健会中央大会 ：兵庫県 ／10月27日 ◆学校環境衛生・薬事衛生 研究協議会：広島県広島市 ／10月12日・13日 ◆全国養護教諭連絡協議会 第29回研究協議会：東京 ／令和6年2月 ◇岐阜県学校保健研究大会 ：美濃・飛騨地区 ／10月29日 ◇岐阜県学校歯科保健 研究大会 ：岐阜市 ／11月12日 ◇岐阜県学校環境衛生 研究大会 ：岐阜市・Web ／1月21日
3月	岐阜県養護教諭会会誌の発行	

令和5年度 岐阜県養護教諭会 予算

収入の部

(円)

項 目	令和4年度決算額	令和5年度予算額	備 考
会費	0	490,700	¥700×701
前年度繰越金	370,717	112,461	前年度より繰越
雑収入	2	5	利息
合 計	370,719	603,166	

支出の部

(円)

項 目	令和4年度決算額	令和5年度予算額	備 考	
事務費	会議費	61,586	90,000	旅費・会場費
	通信費	4,910	5,000	切手代・振込料等
	消耗品費	400	3,000	上質紙等
	小 計	66,896	98,000	
事業費	大会交流会費	126,362	200,000	地区別交流会 (3万円×5地区・予備費)
	会誌印刷費	0	50,000	
	研修費補助	65,000	90,000	全養連参加補助金 (2月3名)
	小 計	191,362	340,000	
予備費	準備費			
	予備費		165,166	
	小 計	0	165,166	
合 計	258,258	603,166		

研修補助の内訳

・全養連参加補助金(2月) 3名参加予定…90,000円

※中部ブロック大会・全養連6月総会については、各研究部会から旅費を算出する。

令和5年度 地区別交流会一覧表

地区名	日時	場所	演題等	定員	他地区からの受け入れの可否	理事の連絡先
岐阜	8/4(金) 【受付】 13:30~ 【講演会等】 14:00~16:00	各務原市産業文化センター	講演会 「岐阜県の不登校の現状と支援の実際」 岐阜県教育委員会 学校安全課 課長補佐 林崇子先生 交流会テーマ 不登校の現状や保健室の関わり、日常執務についての校種間交流	100名	岐阜地区内で定員に満たない場合、先着順で他地区からの希望者を受け入れ	岐阜県立 各務原高等学校 堀 恵子 Tel 058-383-1015 Fax 058-383-7669
西濃	8/1(月) 【受付】 13:30~ 【交流会】 14:00~15:40	揖斐川町地域交流センターはなもも	交流会 「日常の執務の中で疑問に思うことや相談したい事について」	130名	先に西濃地区で募集後、定員に達していなければ先着順で受け入れ可	岐阜県立 大垣工業高等学校 榎間 彩加 Tel 0584-81-1280 Fax 0584-74-9324
中濃 (美濃・可茂)	8/8(火) 【受付】 13:30~ 【交流会】 14:00~16:00	関市文化会館 小ホール	交流会 ①5類移行後のコロナ対応の変化について ②執務におけるICTの活用状況について ③外部団体及び関係者(SSWや子相等)との連携体制について (時間によって④LGBTへの対応について、⑤摂食障害への対応について)	120名	先着順で受け入れ可	岐阜県立 郡上高等学校 樹下 佳奈 Tel 0575-65-3178 Fax 0575-65-2078
東濃	8/4(金) 【接続開始】 13:30~ 【講演会】 14:00~15:00	オンライン開催 (Cisco Webex Meeting 使用) ※事前に接続確認 予定	講演会 ゲーム・インターネット依存について ~支援者のかかわり方~ 講師:各務原病院 公認心理師 松田 純 先生	なし	受け入れ可。 (ただしWebを使用できる環境であること)	岐阜県立 多治見高等学校 古田佳保理 Tel 0572-22-4155 Fax 0572-25-1704
飛騨	8/3(木) 【受付】 13:30~ 【交流会等】 14:00~16:15	高山市 教育研究所 (高山市)	・飛騨子ども相談センターより ・交流会	60名	不可 (会場の都合による)	岐阜県立 飛騨高山高等学校 (山田キャンパス) 中村 祥子 Tel 0577-33-1060 Fax 0577-32-8994

講演会・グループ別交流会

演題「岐阜県の不登校の現状と支援の実際」

講師	岐阜県教育委員会 学校安全課 林 崇子 課長補佐
実施日	令和5年8月4日（金）
場所	各務原産業文化センター
参加者	83名（小38名、中17名、高・特28名）
岐阜地区	理事 堀 恵子（各務原高等学校）
	理事 水谷 理恵子（岐南町立岐南中学校）

1 はじめに

令和5年5月より、新型コロナウイルス感染症は感染症法上の位置づけが、2類から5類に移行した。令和2年からの3年間、コロナ禍で多感な時期を過ごした子供たちは、心身ともに様々な経験をした。

以前から不登校児童・生徒数は増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症対策が緩和されていく中で、不登校の児童・生徒の現状や支援体制はどのような状況であるのか。また、子供たちと直接関わる養護教諭に、どのような支援ができるのか。現状と支援体制を知り、養護教諭の支援について、改めて考える機会とすることを目的として、今回の講演を聞き、交流会で意見交流をすることにした。

2 講演内容（抜粋）

（1）不登校の現状について

全国における小・中学校・高等学校の長期欠席者数は、年々増加している。要因は、不登校（特に無気力・不安）によるものが圧倒的に多い。令和3年度の岐阜県における不登校児童生徒数（1,000人あたり）は、小・中学校27.7人、高等学校12.5人で、いずれも前年度より増加している。

（2）学校安全課教育相談係での支援

小・中学生への支援は市町村教育委員会、高校生への支援は県教育委員会が中心となり、教育相談体制を構築している。学校安全課では、

スクールカウンセラー・スクール相談員の配置、スクールソーシャルワーカーの派遣、電話・面接・SNS相談、グループプレイスなどによる支援を行っている。

（3）養護教諭として大切にしたいこと

児童・生徒を多面的にバランスよくアセスメントし、支援を行い、必要時には関係機関につなげ、見守ることが大切である。

（4）その他

新規採用の養護教諭研修、教育相談研修、ICT活用、ワークライフバランスなどについて。



3 グループ別交流会

「現代的な健康課題について養護教諭の役割を考える」

（1）不登校の現状と保健室や養護教諭の支援

- ・担任と連携して対応することもある。
- ・保健室登校の受け入れは、状況による。
- ・ケース会議に参加、現状把握に努める。
- ・養護教諭が特別支援コーディネーター、もしくはそれに準じた動きをしている。
- ・養護教諭としての不登校の児童・生徒との関

わり方を模索している。

- ・保健室では、児童・生徒の話に耳を傾け、寄り添う姿勢で関わっている。
- ・相談室登校という形も多い。相談員の対応が多いと感じる時もある。
- ・不登校や登校しぶりの背景に、発達障害を含む様々な障害があると思われる事例がある。
- ・発達障害をもつ児童・生徒の保護者が、小・中学校での支援体制を高校でも継続できるのか、不安に思っているという話を聞くことがある。
- ・感染症対策による様々な制限は、児童・生徒の不安や悩みが大きくなるなど、心への影響があったと思う。

(2) 校種間の共通理解を図り、支援を考える

(小・中・高・特それぞれの立場で交流)

- ・熱中症対策：WBGTの測定、水泳や体育など注意深く実施。
- ・緊急時の対応訓練：ロールプレイで実施。エビペン使用時の対応訓練も実施。
- ・預かり薬について：ルールや文書、医師の指示の下で預かり、研修などを実施。
- ・保健指導の実践例：ロイロノートの利用、市との連携、歯科衛生士による指導、年間計画に位置付け。
- ・性教育について：小中学生の段階での指導が、高校生以降の知識や行動に影響。
- ・発達障害への配慮：個別の支援計画の有無、相談室や通級の利用状況。グレーゾーンの児童・生徒への対応。話の仕方やアプローチの工夫。
- ・保健室での業務におけるICT活用：保健調査・アレルギー調査・行事前の健康調査など、各種保健調査のデジタル化を推進。

4 参加者の感想

(1) 講演会

- ・不登校児童・生徒の現状を数値で示していただけ、実際を知ることができてよかった。
- ・岐阜県(小・中学校)の不登校児童生徒数は、全国平均を上回っていることを知った。
- ・学校安全課の支援内容(相談対応やGプレイスなど)を初めて知ることができた。
- ・電話相談でどのように対応されているのかについて知ることができてよかった。
- ・不登校の主な原因は無気力であることを知り、勤務校の生徒と重なる部分が多いと実感。
- ・不登校の現状を知り、目の前にいる児童・生徒のニーズに合わせて、つなげ、見守るという養護教諭の大切な役割を再認識できた。

(2) 交流会

- ・各学校での具体的な実践を聞くことができ、学校現場での悩みを、養護教諭同士で共有できてよかった。
- ・同じ地区で、校種の異なる先生と交流できてよかった。
- ・小・中学校での実態や支援について聞くことができ、高校生に対してどんな支援がより良いか考えることにつながった。

5 おわりに

講演を通し、県内全体の不登校の現状を知り、各自が勤務校の現状を重ねて考えることができた。また、専門性を基盤にもちながら、コーディネーターの役割も含めて多方面からのアプローチができる養護教諭の支援について、校種を超えて交流することができ、有意義な会となった。

地区別交流会

「日常の執務の中の疑問や悩みを共有するために」

～校種を超えたグループ交流会を通して～

実施日	令和5年8月1日(月) 14:00～15:40
場所	揖斐川町地域交流センター はなもも
参加者	69名(小36名、中17名、高・特支16名)
西濃地区	理事 榎間 彩加 (大垣工業高等学校)
	理事 澁谷 真紀 (養老町立広幡小学校)

1 はじめに

昨年度まで、コロナ禍の影響により対面での養護教諭同士の交流の場が例年と比べて少ない状況にあった。養護教諭は多くの学校で一人職であるため、養護教諭どうしが相談したり、悩みを共有したりできるつながりを持つことが重要である。そこで、今年度の地区別交流会では養護教諭が情報交流できるようグループ交流会を実施することとした。特にこの会では、小・中・高・特別支援と校種をまたいだ交流ができるため、より広い視野やつながりが持てるようになるとよいと考えた。

2 交流会について

今回、聞き取り調査で関心の高いテーマを6つ選出。その中から、各自で事前に話し合いたいテーマを選択し、テーマごとにグループ交流を実施。

<テーマ>

- ・ケガ・スポーツ障害について
- ・スマホ依存・睡眠障害といった生活習慣の問題
- ・性教育・セクシュアリティの児童・生徒対応
- ・発達障害や要配慮の児童・生徒について
- ・不登校や不登校傾向について
- ・保健指導に関するもの(がん・歯科・肥満など)

テーマごとの交流後、時間にゆとりがあった場合は、自由交流をする時間とした。交流が終了した後に、全体交流の時間を設けて情報を共有した。

3 内容

交流会では以下の通り、意見があがった。

(1) テーマ別交流

<ケガ・スポーツ障害について>

◇第1発見者の動きの弱さが指摘され、職員会議等を利用した研修の重要性が挙げられた。特に管理職と連携し、救急対応をシミュレーションすることが重要である。

◇ケガの発生については昔に比べ思わぬところでケガをする児童・生徒が増えていることから、体育科と情報共有し、安全に配慮した体制作りをしている。

<スマホ依存・睡眠障害>

◇児童・生徒自身が生活を振り返る必要があるという考えから、生活リズム点検表を使って、睡眠時間等の点検を実施している。自分の生活リズムの様子を振り返って、課題を設定させて取り組むように指導している。

◇生活習慣と大きな関わりのあるメディア利用について、生活習慣の改善のためには、家庭の協力が不可欠である。

◇SNSでの対人・金銭トラブルが発生している。

<性教育・セクシュアリティ>

◇名簿やジャージなど男女混合が進んでいる。その一方、中学校では体育だけではなく、保健も男女別になっているところがある。

◇修学旅行など宿泊を伴う場合は、入浴時に配慮

を要する場合がある。

◇職員のセクシュアリティに関する意識改革が必要である。

<不登校や不登校傾向について>

◇教育相談的な受容的態度によって、段々わがまになってくる児童・生徒がいる。

◇学校に行くモチベーションが低いため、学校側の働きかけへの反応が薄い。

◇保健室登校の児童・生徒には、1日を目的なく過ごすのではなく、目標を立てて保健室で何か活動したり、周囲の児童・生徒と交流する機会を作る。

<発達障害や要配慮の児童・生徒対応について>

◇ケース会議を開き、方針と役割分担を決める

「今やれること」は何かを考えていく。

◇中学から高校の個別支援計画の引継ぎが、保護者の承諾がない場合は行われないため、情報が届かない場合がある。

<保健指導に関するもの>

◇なかなか時間がない状況だが、年間計画に入れて、朝の時間に各教室を回り、15分間の指導をしている。

◇外部講師や校医と連携し、専門的な内容（がん教育）について市で進めている。

◇体育科と連携し、タイミングを合わせている。

◇保健目標、来室者状況からテーマを決めている。

◇発達段階に合わせた指導。懇談で保護者に、担任から話してもらうようにしている。懇談時に再配付、夏休み前に放送している。

(2) 自由交流

<ICT>

◇昼の放送を活用してパワーポイントで指導。アンケート調査はタブレットで実施。

<熱中症対策について>

◇熱中症アラート発令時の対応は、学校によって異なる。活動を継続するかどうかは校長や部活

顧問が判断する。

◇保健室からは、アラートが出たことの周知、活動時間の中止や短縮の依頼をしている。

◇下校前に、エアコンのきいた部屋で体を冷やす。熱中症は、自分で防ぐことができると指導している。塩分タブレットの配付は、食物アレルギー（乳糖）に注意が必要である。

◇プールは、気温と水温の両方を測定して、入るかどうかが決めている。見学者の熱中症予防のために、WBGT指数が31以上で見学も中止。

4 振り返りアンケートでの感想

・小・中・高・特で引き継ぐことなどが明確になった。

・特別支援学校は、小～高まで在籍しているため、情報を頂けて大変有意義な時間になった。

・スマホによる金銭トラブル等の事例を聞き、メディア指導や情報モラル教育の重要性を実感した。また、睡眠障害についても、スマホ依存やゲーム依存に繋がる点が多くあるので、健康課題解決のための、生活習慣に関わる指導を行っていきたいと思った。

・自分が今後どのように取り組んだら良いか悩んでいたことに対し、他の学校や校種の異なる先生方からお話を聞いて、やりたいことや取り組みたいことが明らかになった。

5 おわりに

校種を越えた視点で話し合うことができ、視野が広がった。同時に、校種は異なっても、児童・生徒の健康を守るという同じ目的を持った養護教諭同士で通ずるものがあり、共感し合う部分も多くあった。今後の保健室執務に役立つ知識を得られ、学びの多い交流会を行うことができた。

テーマ「現代的な健康課題を抱える子供たちへの支援」

～養護教諭の専門性を発揮するために～

実施日	令和5年8月8日(火)
場所	関市文化会館
参加者	63名(小35名、中13名、高・特支15名)
中濃地区 理事	樹下 佳奈(郡上高等学校)
美濃地区 理事	山中 良江(美濃市立牧谷小学校)
可茂地区 理事	笠嶋 佳子(可児市立東可児中学校)

1 はじめに

令和5年度、中濃地区では美濃地区・可茂地区合同で交流会を開催した。複雑化・多様化した児童・生徒が抱える現代的な健康課題の解決に向け、小・中・高等学校・特別支援学校の学校種を超えた交流を目的として、校種、市町、経験年数が異なるグループを設定した。

2 グループ別交流会テーマ

- (1) 5類移行後のコロナ対応の変化について
- (2) 職務におけるICTの活用状況について
- (3) 外部団体及び関係者との連携体制について
- (4) LGBTsへの対応について
- (5) 摂食障害への対応について

3 交流内容

- (1) 5類移行後のコロナ対応の変化について
 - ・消毒：消毒液設置の継続、撤去、一部撤去、手洗いの徹底に変更と各校で異なる。
 - ・マスク：季節の変化や、学校側の働きかけで外す児童・生徒が増えたが、外せない児童・生徒もいる。
 - ・歯磨き：再開、中止の継続と各校で異なる。カラーテスト、仕上げ磨き、歯磨き指導を再開した学校もある。
 - ・保健室利用：体調不良者は直ちに早退させていたが、様子を見るようになった。ベッドの使用の有無は各校で異なるが、使用している

学校では、使い捨てシートや不織布を活用している学校もある。

- ・体調不良やコロナ陽性を隠し登校する児童・生徒がいる一方、休み癖がついている児童・生徒や不登校傾向など、不安定な児童・生徒も増加した。

(2) 職務におけるICTの活用状況について

- ・Teams：出欠確認、WBGTの値を職員間で共有、養護教諭部会で使用
- ・Forms：生活リズムアンケート、宿泊研修の事前健康調査、同意書を取る際に活用できる
- ・ロイロノート：保健教育、検診の事前指導、食物アレルギーの職員研修、職員への連絡
- ・T-comp@ass：来室記録、保健日誌、成長曲線、健康診断結果
- ・e-教務：来室記録、保健日誌、健康診断票のデジタル化
- ・心電図検査表をWordとExcelで差込印刷
- ・ほけんだよりのペーパーレス化
- ・特別支援学校では、タブレットを活用し、視覚的支援を実施。なお、養護教諭へのタブレット配布がない市町もある。
- ・職務の効率化を図るために積極的に活用したが、市町により使用できるアプリケーションが異なるため、他校の実践を聞いてもすぐに活用できない場合もある。

(3) 外部団体及び関係者との連携体制について

- ・養護教諭が主となり対応するのではなく、教

育相談・生徒指導・管理職などが窓口となり、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・スクール相談員・市役所・警察・子ども相談センターなど関係機関が連携する際のコーディネーターを務めることが多い。保健室来室時の様子や関わりの情報提供、医療機関へつなぐ際、学校の様子を文書化し、伝えた学校がある。

- ・学校からは話しにくい内容を外部団体から話してもらうことで状況が進展したり、学校には話せないことも外部の人には話せたりすることもある。
- ・専門的な視点で発達障がいや困り感などを見立て、支援してくれる外部機関があるとよい。
- ・自身の気持ちや悩みを話せない児童・生徒も多く、自らSOSを出すことができる児童・生徒を育てたい。

(4) LGBTs への対応について

- ・制服：選択可能となり、女子でスラックスを着用する生徒が増加中。コロナ禍でのジャージ登校に救われた生徒もいる。
- ・トイレ：自身の性自認と異なる性のトイレ掃除に苦痛を感じる児童・生徒がいる。多目的トイレの活用。
- ・啓発活動：講演会で当事者の話を聞く、性的指向についての保健指導、関連する書籍の保健室に配置、新聞記事等を掲示して情報提供。
- ・進路相談でLGBTsを考慮した進路先に変更したり、卒業後性転換したりした生徒のケースがある。

(5) 摂食障害への対応について

- ・自身の体型への認識違い、モデル体型の女性に憧れ、やせ願望の強い児童・生徒がいる。
- ・摂食障害と診断された児童・生徒と一緒に給食をとる対応をした学校がある。
- ・体重が減少し、受診している児童・生徒がい

る。カウンセリングにつなげたいが、本人が嫌がるため対応に苦慮している。

- ・愛着障害の可能性もあるのではないかと。

4 参加者の感想

- ・交流の中で今後の職務に取り入れたいと思うことが多くあった。養護教諭は一人職のため、悩みなど



- を吐き出す場がないが、交流会では普段はなかなか言えない悩みなどをお互いに話して分かりあうことができた。
- ・校種、学校規模、経験年数、勤務地区が全員違う中で、交流するテーマを決めて話すことが、日々悩んでいることや葛藤していることについてそれぞれの立場から建設的に共有できることにつながり、自身の活力になった。
- ・特別支援学級から転入学してくる特別支援学校の児童・生徒もいるため、何かあったときに連絡しやすくなるため、このような交流は必要だと思う。
- ・勉強不足な点もあり、学ぶことが多くとても身になる交流会だった。まだ対応したことの少ないテーマの話聞くことができたので、今後の保健指導などに生かしていきたい。

5 おわりに

参集型でのグループ別交流会は、各校の実情や困り感をグループで共有し、他校の実践を聞き情報交換をすることにより、参加者に有意義な時間となった。今回、養護教諭の横のつながりが深まったことから、今後、学校種を超えての相談、情報交換ができる機会となったと考える。交流会での学びを今後の職務に生かしていきたい。

演題「ゲーム・インターネット依存について～支援者のかかわり方～」

講師	各務原病院	公認心理師	松田 純先生
実施日	令和5年8月4日（金）		
場所	Web講演会		
参加者	116名（小57名、中37名、高・特支22名）		
東濃地区	理事	古田 佳保理（多治見高等学校）	
	理事	山田 依里（恵那市立岩邑小学校）	

1 はじめに

東濃地区では、多治見から中津川までの広い範囲でも気軽に参加していただけるよう、Webにて講演会を行うこととし、コロナ禍での急速なICT機器の普及によるインターネット依存などの問題について取り組みたいと考えた。

2 講演内容

各務原病院の公認心理師 松田 純先生にご講演いただいた。各務原病院では、インターネットやゲームだけでなく、様々な依存症患者の診療を行っている。

(1) ゲーム・インターネット依存の現状

2017年のデータによると、インターネット・ゲーム依存が疑われる中・高生は、全国で93万人の患者がいる。7人に1人が依存症ということになる。コロナ禍の影響もあり、現在はさらに増加していると言われている。

(2) 依存症とは

依存症の概念は、「物質依存」と「行動嗜癖」に分けられる。インターネット、スマートフォン、ギャンブル、自傷等は行動嗜癖（プロセスへの依存）であり、治療には患者一人の努力だけでなく、家族や周辺の人々の支えが必要。

(3) ゲーム依存症とは

ゲーム依存症では、ゲームをする時間をコントロールできない、日常の活動よりもゲームを優先する、ゲームによって問題が起きているに

もかかわらずゲームを続けるといった判断基準がある。夏休み明けに医療機関受診率が増えることがある。

(4) ゲーム依存になりやすい要因

ADHD 傾向、自閉症スペクトラム傾向にある、居場所がない、自尊心が低い、ストレス状態、低年齢からゲームをしている、など、単にゲームやインターネット好きというより、実生活に生きづらさがある人の方が重症化しやすい。

(5) 子供のゲーム・インターネット利用

本来、ゲームやインターネットは短時間で適切な使い方をすると気持ちが安らぎ、不安や孤独感が癒されてストレスが発散され、生活を豊かにしてくれるものである。しかし、岐阜県内の学生の調査（令和4年度）によると、どの学年においても、ゲーム等を1日に1～3時間使用している人が多い。高校生になると、3時間以上使用している人も多く、4時間以上使用している場合、依存傾向が強いと言える。母子手帳の項目にもインターネット利用の低年齢化についての文言が追加され、単純にゲーム・インターネットを「断つ」だけでなく、適切な使用方法を身につけていかなければいけない。

(6) 治療について（各務原病院の場合）

①精神疾患・発達障害・睡眠障害の治療

②短期間の入院治療

③KAGAYAKI-i（集団プログラム）

・昼夜逆転して乱れた生活を整えられるよう、平日の昼間に実施。何度も繰り返し行う。

- ・家族教室も実施しており、本人がいけなくても家族のみが参加する例もある。
- ・ゲームやインターネットを取り上げるのではなく、適切な使用法を模索していく。
- ・受講者：I T A（インターネット依存テスト）で得点が高い人

＜参加する人に対して＞

- ・ゲームを取り上げる場所ではないと説明する。
- ・ゲームについて安心して話せる場所を提供する。
- ・治療の場に来てくれたことを称賛する。
- ・困ったことを素直に伝えるよう指導し、伝えた際には褒める。
- ・ゲームやインターネット以外に楽しいことを教えてあげる。

→ゲーム・インターネットに逃避することなく、自分自身の課題と向きあえるようにする。

＜患者家族の悩み＞

- ・ゲーム・インターネットを取り上げたい。
- ・不登校について。
- ・課金、金銭感覚について。
- ・周りの誰にも相談できない。

＜支援者の心構え＞

- ・相手の誤りを正そうとしない。
- ・急がない。
- ・子供をコントロールしようとするしない。
- ・あきらめない。
- ・たとえ家族であっても、財布等貴重品の管理はしっかりする。
- ・Iメッセージで伝える。
- ・相手をよく観察し今できていることを評価する。

→教員としては、学校での様子やいいところを家族に伝えられると良い。

＜支援者がやってはいけないこと＞

- ・ゲーム・インターネットを取り上げる。
- ・二度と使用しないと誓わせる。
- ・罰則を与える。

- ・必要以上にしかりつける。

→患者にとって自分の生きるフィールドを取り上げられるのは恐怖でしかない。本人とじっくり話し合い、生活リズムに支障のない適切な使用法を考えさせる。それを家族で一緒に守る。

3 感想交流（紙面）

- ・目先の行為だけを見るのではなく、その子の背景に隠れている問題まで見て理解することが大切だと実感した。よく観察すること、相手に寄り添うことはゲームやネット依存に関わらず、どの子にも共通することだと思う。夏休み明け、児童・生徒をよく観察し、小さな異変にも気付ける養護教諭でありたい。
- ・実際に行っているプログラムの内容や、患者さんの声を実際に治療に携わっている先生からお聞きすることができて大変勉強になった。高校入学を機に発症する人が多いことや、なんとか学校とつながりがある間に病院へつないでほしいという先生の言葉が大変印象に残った。
- ・関わって行く上で、ゲーム等を取り上げることは逆効果になるということは納得できた。現在ではスマートフォンやタブレット端末は生活の一部になっていて、それをゼロにすることは、適切に使用できている大人たちでも厳しいことだと思われる。ノーメディアの取り組みも見直さないといけないと感じた。

4 おわりに

講演会では、ゲーム依存症の実態、それに係る支援者のあり方等、具体的に学ぶことができた。今後も各校で児童・生徒への支援・指導へ活かしていきたい。

地区別交流会

「現代的な健康問題を抱える子供たちへの支援」

～養護教諭間の連携を深め、よりよい支援に繋げる～

実施日	令和5年8月3日(木)
場所	高山市教育研究所 2階 大会議室
講師	飛騨子ども相談センター 家庭支援課長 青木 和美 氏
参加者	59名(小29名、中17名、高・特支13名)
飛騨地区	理事 中村 祥子(飛騨高山高等学校 山田キャンパス) 理事 山崎 文(高山市立江名子小学校)

1 はじめに

今回、久しぶりに集合型での地区別交流会を開催することができた。コロナ禍でしばらく集まって交流する機会がなかったため、飛騨地区では、あえて具体的なテーマは設けず、養護教諭同士が繋がることを目的として交流会を行った。また、地区で繋がるという観点から、飛騨子ども相談センターの家庭支援課長、青木和美氏をお招きし、「子ども相談センター(児童相談所)の機能と役割」について研修も行った。

2 飛騨子ども相談センターより

- (1) 子ども相談センターとは
- (2) 飛騨子ども相談センターの状況
- (3) 子ども相談センターの役割
- (4) 虐待相談について
 - ・虐待相談の経路
 - ・虐待通告後の対応
 - ・介入と支援
 - ・虐待が疑われたら
- (5) 養護教諭の役割



3 交流会

(1) 保健関係書類の引継ぎについて

平成30年度の交流会にて、中学から高校への保健関係書類の引継ぎについて確認をしたが、年数も経ったことから、再度全体で確認をした。

- ・児童生徒の健康診断票
- ・学校生活管理指導票
- ・日本スポーツ振興センター 他

(2) グループ別交流会

経験年数や校種、郡市をバラバラにし、6～8人グループで1時間程度、交流を行った。

～交流内容を一部抜粋～

①熱中症対策について

- ・WBGTを測定する人は生徒保健委員や管理職、養護教諭、体育科職員、運動部活顧問等で、結果は昼の放送やホワイトボードに表示、または同じ活動場所で結果を共有など。測定場所は教室、グラウンド、体育館、等。
- ・WBGT31 超える場合は活動を中止することを保護者に通知。
- ・全ての部顧問にWBGT測定器を配布。
- ・WBGT値によりタブレット配布。
- ・家庭での準備としてアイシング等の熱中症対策グッズの持参許可や、水筒の中身を家庭の判断に変更。
- ・下校時に暑さ指数ランク「危険」が出ているときは水分補給の後、下校させる。

- ・基本的な生活習慣を大切にさせる。
- ・長袖・長ズボンを脱がせる指導。

<課題>

- ・職員の意識の向上
- ・WBGTを生かした運動部の活動時間変更等、制度の見直し。
- ・冷房使用時の座席の位置による体の冷え。
- ・コロナ禍による体力の低下。
- ・自分の体調、体力を把握する力。
- ・活動前、中、後の体調確認と環境の把握。
- ・気持ちの影響か熱中症の症状なのかの判断。
- ・市町村単位で活動の制限を発表してほしい。

②歯科指導について

- ・今年度の歯科検診で歯垢2や歯肉炎が増加している学校多数。コロナ禍で校内での歯磨きや歯科指導の制限があったことが影響していると考えられる。一方でコロナ禍においても歯科指導と歯磨きを継続した学校は歯科検診で口腔内異常の増加は見られなかった。

<課題>

- ・校内に蛇口が少ない。

③性の多様性の風潮について

- ・トランスジェンダーの生徒が、一部の生徒から受け入れられないことに強い被害者意識を持つ。
- ・プールは男女ともにラッシュガード着用可。

④応急処置について

- ・救急搬送は主治医によっては初診料がかかるケースがあるよう。あらかじめ保護者の了承を得る必要がある。
- ・市内の脳外科の開業医が閉院するなどの環境で、学校から受診をお願いする場合、総合病院を受診することになり、時間的・経済的に

保護者へ負担をかける。

- ・骨折の診断が増えているように感じる。
- ・負荷の少ない動きでの負傷で腫脹など異常が見られないケースでも骨折している。
- ・蕁麻疹などは写真を保護者に見せ共通理解を図っている。
- ・目立った異常はないが、負傷部位によっては保護者への一報を担任へ依頼するが、躊躇される場合がある。

⑤その他

- ・中学から高校への引継ぎ書類について疑問点の交流。
- ・児童・生徒の様子、保健室の対応、児童・生徒委員会活動やスポーツ振興センター手続き、アレルギー対応等について交流。



4 おわりに

今回の地区別交流会は、全体の85%を超える参加があり、とても活気のある会になった。普段関わることの少ない他校種・他の郡市の先生方と、ざくばらんに日常の執務等について意見交流ができ、多くの学びがあった。一人職である私たち養護教諭にとって、「つながり」は大切だと改めて感じた交流会だった。

中部ブロック養護教諭部会代表者会規約

- 1 本会は、中部ブロック養護教諭部会代表者会と称する。
- 2 本会は石川・福井・富山・愛知・名古屋・三重・岐阜・新潟・長野・静岡の養護教諭部会の代表者をもって構成する。
- 3 本会は年1回定期的に代表者会を開催し、下記事項について研究協議を行い各県・市養護教諭部会の発展と養護教諭の資質の向上に寄与することを目的とする。
 - (1) 各県・市養護教諭部会の事業、予算、運営等における情報の交換
 - (2) 当面している職務遂行上における諸問題とその対応
 - (3) 養護教諭の資質向上と将来の理想展望へのステップ
 - (4) 学校保健に関する諸問題への対応と将来への展望
 - (5) その他
- 4 上記代表者会開催は各県・市1年交代の輪番とする。その順序は下記の通りとする。ただし、事情により、本会で承諾を得て開催地を交代することができる
 - ① 岐阜
 - ② 福井
 - ③ 愛知
 - ④ 富山
 - ⑤ 名古屋
 - ⑥ 石川
 - ⑦ 三重
 - ⑧ 長野
 - ⑨ 静岡
 - ⑩ 新潟
- 5 本会開催に際しては各当番県の教育委員会事務局の共催、または、後援等の開催同意を得た上で協力体制を整える。
- 6 本会開催に要する費用は当番県・市負担とする。ただし、各県・市1万5千円納入する。なお、必要がある場合は同意により経費の一部を負担する場合もある。
- 7 本会の事務局は当番県・市の会長校におき、協議内容、その他を記録し申し送るものとする。

この規約は2020年8月11日から施行するものとする。

付記 昭和58年8月20日施行

昭和61年8月12日一部改正

・名称の一本化・・・連絡協議会 → 代表者会

・3 職能 → 資質

・7 「協議内容、その他を記録し、申し送るものとする」を付記する。

昭和63年8月19日一部改正

・6 負担金として各県・市5千円 → 負担金として各県・市1万円

平成8年8月23日一部改正

・4 に追加 「ただし、事情により、本会で承諾を得て開催地を交代することができる」

平成12年8月17日一部改正

・1 名称 東海・北陸ブロック養護教諭部会代表者会 → 中部ブロック養護教諭部会代表者会

・2 新潟・長野・静岡を入れる。

・4 ⑧ 新潟 ⑨ 静岡 ⑩ 長野 を入れる。

平成17年8月18日一部改正

・各県・市2年交代の輪番 → 1年交代の輪番

平成26年8月19日一部改正

・6 負担金として各県・市1万円 → 負担金として各県・市1万5千円

平成29年8月17日一部改正

・3 (2) 執務 → 職務

2020年8月11日一部改正

・4 ⑧ 新潟 ⑨ 静岡 ⑩ 長野 → ⑧ 長野 ⑨ 静岡 ⑩ 新潟

令和5年度中部ブロック養護教諭部会代表者会報告

- 1 期 日 8月25日(金) 13:00~14:30 Zoom による Web 会議
- 2 主 催 愛知県
- 3 負担金 Web開催のため負担金なし(集合型の場合は地区15,000円を負担)
- 4 テーマ1『ミドルリーダーや若手の育成』

どの団体にも共通している課題として、ミドルリーダーとして活躍が期待される年代の人は、もともと採用数が少ないことに加え、産休・育休などで長期に現場を離れていたり、短時間勤務をしていたりするため、その育成が難しいということがあげられた。また、経験年数10年未満の養護教諭が全体の4割を占めている地区も多く、県が実施する新規採用者研修、経験者研修で学ぶことはできるものの、それのみでは十分ではなく、育成が難しいとの意見があがった。

長野県では、「養護教諭育成支援リーダー」、愛知県では「主任養護教諭」という制度があり、経験の浅い養護教諭への指導やフォローにあたっている。(担当者は自分も勤務校のある養護教諭とのことで、大変そうだなと感じた。)

会の役員として運営に携わってもらうことで、企画力・調整力等のミドルリーダーとして必要なスキルを身に付けてもらうように人選をしている地区もある。

- 5 テーマ2『働き方改革に伴う研究会組織の課題やその解決に向けた取り組み』

どの団体も ICT の活用が進んでいる。役員会の資料や連絡はメールを利用し、会議も Zoom 等を活用して行っている会も多い。(長野・新潟は、会で Zoom を年間契約している)ただ、Zoom 等での Web 会議は、詳細が伝わりにくいという欠点もある。

また、研修会を YouTube で配信している会や、ホームページを開設し、会員への情報伝達に利用している会もある。会員へのアンケートを Forms 等で行い、役員の負担軽減を図っている会もある。

しかし、会員の減少に伴う会費の減収や、助成金の廃止等により、費用面でこれらを取り入れられない地区もあり、運営に苦慮している現状がある。

- 6 その他

研究会費・慶弔費についてや、主催する研究大会・研修会・役員会の実施状況、HPの有無、ICTの活用についてアンケートを行って情報共有した。

- ・研究会費 0円~4700円
- ・慶弔費 年会費として徴収は1団体のみ 予備費・特別会計からが1団体
本人弔時のみ規定ありが1団体 別途親睦会ありが1団体→岐阜県高特

- 7 会誌・研究誌の交換

各団体において令和4年度に作成した、会誌・研究誌・冊子等を交換

送付数15冊 送付方法は指定なし(集合型の場合は持ち寄り)

- (1) 送付期日 令和5年7月3日(月)~7月7日(金) 必着送付(送料各団体負担)
- (2) 送付先 愛知県 担当者宛
- (3) 受取期日 配送時期: 8月1日(火)~8月3日(木) (送料各団体負担 着払い)

令和5年度全国養護教諭連絡協議会研究協議会 参加報告

1 概要

- 【開催日時】 令和6年2月16日（金）11:00～16:50
【会場】 有楽町朝日ホール 東京都千代田区有楽町2-5-1
【参加者】 岐阜県養護教諭会 副会長 川島あけみ 監事 近藤亜樹子 会計 宮井千浪
【主題】 『時代の変化に対応した養護教諭の役割を追求する』
～養護教諭が学校保健活動で育む子供たちのウェルビーイング～

【内容】

- (1) 特別公演『笑顔・素直・感謝』
講師：シンガーソングライター 松本 隆博 氏
- (2) 基調講演『これからの学校保健と養護教諭に求められるもの』
講師：文部科学省初等教育局健康教育・食育課 健康教育調査官 松崎 美枝 氏
- (3) フォーラム『子供たちのウェルビーイングを高める養護教諭の取組』に関する4つの実践
～心身の健康を保持増進し、自己肯定感を育む支援～
- | | | | |
|----------|---------------|------|---------|
| コーディネーター | 北海道教育大学 | 理事 | 渡部 基 氏 |
| シンポジスト | 大阪市立加島小学校 | 養護教諭 | 田中 舞 氏 |
| | 川崎市立日吉中学校 | 養護教諭 | 福寿 典子 氏 |
| | 愛媛県立新居浜西高等学校 | 養護教諭 | 鴻上 佳子 氏 |
| | 岩手県立盛岡ひがし支援学校 | 養護教諭 | 吉田亜希子 氏 |

2 報告

(1) 特別公演

笑顔：人が声をかけてくれる

素直：人が教えてくれる

感謝：人を大きくする

「社会を生きる絆の素」をコンサート形式で公演した。

(2) 基調講演

・様々な手引きや、文部科学省のホームページから、ダウンロードできる資料や最新の情報等が多くあるため、内容を確認し有効活用してください。



(3) フォーラム

①『児童のウェルビーイングを優先したチーム学校で取り組む不登校支援』 【小学校】

—養護教諭の専門性と保健室の機能を生かした支援—

②『性の多様性について理解を深める取組—』 【中学校】

—健康教育を通して自己肯定感を育む—

③「日々の取組で自己肯定感を育む『導くコーディネート』を心掛けて」 【高等学校】

④ 卒業を控えた高等部生徒の性に関する指導の実践 【特別支援学校】

ステキな大人をめざして ～トラブルをおこさないためにルールとマナーの確認～

・ウェルビーイングには、個人が獲得・達成する能力や状態に基づく獲得的要素と、利他的、協働性、社会貢献意識など、人とのつながりや関係性に基づく協調的要素の二つの要素があり、それらを調和的、一体的に育むことが、日本発のウェルビーイングの実現につながると考えられる。フォーラムは獲得的要素としての「自己肯定感」に焦点を当て①～④の4名の先生方が実践発表した。自己肯定感の捉え方は、様々なものがあるが、養護教諭から見えやすい、心身の健康の保持増進へ向かう行動に関する努力や成果を認めることや、保健だよりや保健室等の様々なツールや場面を活用し、集団的なガイダンスと個別的なカウンセリングを駆使して発育・発達を支えることが、養護教諭の専門性を発揮することへ近づいていくのではないかと。教育に携わるすべての人々の教育活動そのものが、ウェルビーイングの向上に直結している。と結んだ。

令和5年度 岐阜県養護教諭会 事業報告

日時・会場	事業名および内容	関連事業
4月 8日(土) 10:00～ 岐阜市南部コミュニティセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新旧役員引継ぎ (新旧 会計・書記 9:00～) 第1回 役員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度事業報告および会計報告 ・ 令和5年度事業計画案および予算案 ・ 令和5年度以降の岐阜県養護教諭会のもち方について ・ 令和5年度中部ブロック養護教諭部会代表者研修会について ・ 令和4年度全国養護教諭連絡協議会参加報告 ・ 岐阜県養護教諭会会誌作成について 	<全国大会/中部> ◆全国養護教諭連絡協議会 令和5年度総会、第25回学校保健連絡協議会：東京 /6月17日 ◆中部ブロック養護教諭部会 代表者研修会：愛知県 /8月25日 ◆東海ブロック学校保健 研究大会：三重県 /11月中旬 ◆全国学校歯科保健研究大会 :大阪府 /10月19日～20日 ◆全国学校保健安全研究大会 :兵庫県 /10月26～27日 ◆全国学校保健会中央大会 :兵庫県 /10月27日 ◆学校環境衛生・薬事衛生 研究協議会：広島県広島市 /10月12日・13日 ◆全国養護教諭連絡協議会 第29回研究協議会：東京 /令和6年2月 ◇岐阜県学校保健研究大会 :美濃・飛騨地区 /10月29日 ◇岐阜県学校歯科保健 研究大会 :岐阜市 /11月12日 ◇岐阜県学校環境衛生 研究大会 :岐阜市・Web /1月21日
5月13日(土) 10:00～ WEB	第1回 理事会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度役員承認 ・ 令和4年度事業報告および会計報告 ・ 令和5年度事業計画案および予算案 ・ 令和5年度以降の岐阜県養護教諭会のもち方について ・ 令和5年度中部ブロック養護教諭部会代表者研修会について ・ 岐阜県養護教諭会会誌作成について 	◆全国学校保健会中央大会 :兵庫県 /10月27日 ◆学校環境衛生・薬事衛生 研究協議会：広島県広島市 /10月12日・13日 ◆全国養護教諭連絡協議会 第29回研究協議会：東京 /令和6年2月 ◇岐阜県学校保健研究大会 :美濃・飛騨地区 /10月29日 ◇岐阜県学校歯科保健 研究大会 :岐阜市 /11月12日 ◇岐阜県学校環境衛生 研究大会 :岐阜市・Web /1月21日
8月	岐阜県養護教諭会 地区別交流会	◆全国学校保健会中央大会 :兵庫県 /10月27日 ◆学校環境衛生・薬事衛生 研究協議会：広島県広島市 /10月12日・13日 ◆全国養護教諭連絡協議会 第29回研究協議会：東京 /令和6年2月 ◇岐阜県学校保健研究大会 :美濃・飛騨地区 /10月29日 ◇岐阜県学校歯科保健 研究大会 :岐阜市 /11月12日 ◇岐阜県学校環境衛生 研究大会 :岐阜市・Web /1月21日
12月2日(土) 10:00～ 関市文化会館	第2回 役員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度事業報告および会計報告 ・ 令和5年度中部ブロック養護教諭部会代表者会報告 ・ 令和5年度地区別交流会実施報告と反省 ・ 令和6年度事業計画案および予算案 ・ 令和6年度以降の岐阜県養護教諭会のもち方について ・ 令和6年度講演会について ・ 令和6年度中部ブロック養護教諭代表者会について ・ 岐阜県養護教諭会会誌第35号について 	◆全国学校保健会中央大会 :兵庫県 /10月27日 ◆学校環境衛生・薬事衛生 研究協議会：広島県広島市 /10月12日・13日 ◆全国養護教諭連絡協議会 第29回研究協議会：東京 /令和6年2月 ◇岐阜県学校保健研究大会 :美濃・飛騨地区 /10月29日 ◇岐阜県学校歯科保健 研究大会 :岐阜市 /11月12日 ◇岐阜県学校環境衛生 研究大会 :岐阜市・Web /1月21日
2月3日(土) 10:00～ WEB	第2回 理事会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度事業報告および会計報告 ・ 令和5年度中部ブロック養護教諭部会代表者会報告 ・ 令和5年度地区別交流会実施報告と反省 ・ 令和6年度事業計画案および予算案 ・ 令和6年度以降の岐阜県養護教諭会のもち方について ・ 令和6年度講演会について ・ 令和6年度中部ブロック養護教諭代表者会について ・ 岐阜県養護教諭会会誌第35号について 	◆全国学校保健会中央大会 :兵庫県 /10月27日 ◆学校環境衛生・薬事衛生 研究協議会：広島県広島市 /10月12日・13日 ◆全国養護教諭連絡協議会 第29回研究協議会：東京 /令和6年2月 ◇岐阜県学校保健研究大会 :美濃・飛騨地区 /10月29日 ◇岐阜県学校歯科保健 研究大会 :岐阜市 /11月12日 ◇岐阜県学校環境衛生 研究大会 :岐阜市・Web /1月21日
3月	岐阜県養護教諭会会誌の発行	

令和5年度 岐阜県養護教諭会 会計報告

収入の部

(円)

項 目	令和5年度予算額	令和5年度決算額	備 考
会 費	490,700	490,000	700円×700人
前年度繰越金	112,461	112,461	前年度より繰越
雑 収 入	5	1	利息
合 計	603,166	602,462	

支出の部

(円)

	項 目	令和5年度予算額	令和5年度決算額	備 考
事 務 費	会 議 費	90,000	59,350	旅費・会場費 4月：39217+940 12月：18093+1100
	通 信 費	5,000	1,000	切手代・振込料 (地区別交流会振込含)
	消耗品費	3,000	0	コピー代
	小 計	98,000	60,350	
事 業 費	大会交流会費	200,000	33,205	地区別交流会 (最大3万×5地区)
	会誌印刷費	50,000	0	
	研修費補助	90,000	90,000	全養連参加補助金 (2月3名)
	小 計	340,000	123,205	
予 備 費	予 備 費	165,166	0	
	準 備 費	0	0	
	小 計	165,166	0	
	合 計	603,166	183,555	

収支決算

(収入) 602,462 - (支出) 183,555 = 418,907

(差引金額) 418,907円を次年度へ繰り越します。

上記の通り報告します。

令和6年 2月19日

会計 宮井 千浪

会計 各務 貴代子

監査報告

本会計が適切に執行されたことを証明いたします。

令和6年 2月19日

監査 佐藤 愛

監査 近藤 亜樹子

岐阜県養護教諭会の歩み

年代	事 業 内 容	会 長 名
昭 60	○ 岐阜県養護教諭会 会則起案 ○ 全国養護教員会へ加入	
昭 61	○ 岐阜県養護教諭会 会則施行 ○ 「岐阜県養護教諭会 会誌」 発刊 (創刊号)	家 田 裕 子 (岐阜第一女子高等学校)
昭 62	○ 講演「これからの養護教諭像」 一ツ橋大学助教授 藤 田 和 也 先生 ○ 「岐阜県養護教諭会 会誌」 発行 (第 2 号)	吉 村 由 美 子 (岐阜市立本荘小学校)
昭 63	○ 地区別、小中高交流会 ○ 「岐阜県養護教諭会 会誌」 発行 (第 3 号)	牧 田 良 子 (岐阜女子商業高等学校)
平 元	○ 講演「美しい性を生きる」 埼玉県立川口北高等学校教諭 高 柳 美知子 先生 ○ 「岐阜県養護教諭会 会誌」 発行 (第 4 号)	高 山 節 子 (岐阜市立明郷中学校)
平 2	○ 地区別、小中高交流会 ○ 「岐阜県養護教諭会 会誌」 発行 (第 5 号)	山 崎 敬 子 (各務原養護学校)
平 3	○ 講演「保健室での子どもとのかかわり方~心からのアプローチ」 大阪電気通信大学教授 高 垣 忠一郎 先生 ○ 「岐阜県養護教諭会 会誌」 発行 (第 6 号)	田 浦 めぐみ (美山町立美山南中学校)
平 4	○ 地区別、小中高交流会 ○ 「岐阜県養護教諭会 会誌」 発行 (第 7 号)	戸 田 すみ子 (岐山高等学校)
平 5	○ 講演「緊急時における養護教諭の判断」 京都蘇生会病院副院長 杉 浦 守 邦 先生 ○ 「岐阜県養護教諭会 会誌」 発行 (第 8 号)	渡 辺 美 智 子 (大垣市立川並小学校)
平 6	○ 地区別、小中高交流会 ○ 「岐阜県養護教諭会 会誌」 発行 (第 9 号)	堀 登美子 (岐阜西工業高等学校)
平 7	○ 講演「子どもの健康の現状と課題」 日本体育大学教授 正 木 健 雄 先生 ○ 「岐阜県養護教諭会 会誌」 発行 (第 10 号)	渡 辺 英 子 (大垣市立興文中学校)
平 8	○ 地区別、小中高交流会 ○ 「岐阜県養護教諭会 会誌」 発行 (第 11 号)	中 瀬 和 子 (加納高等学校)
平 9	○ 講演「養護教諭とは何かを求めて ~養護教諭のこれまでとこれから~」 岐阜大学 助教授 近 藤 真 庸 先生 ○ 「岐阜県養護教諭会 会誌」 発行 (第 12 号)	児 玉 佐 喜 子 (養老町立日吉小学校)
平 10	○ 地区別、小中高交流会 ○ 「岐阜県養護教諭会 会誌」 発行 (第 13 号)	水 野 しず江 (大垣養護学校)

平 11	○ 講演「重要性を増してきた養護教諭の役割」 東海女子大学 助教授 長谷川 博 一 先生 ○ 「岐阜県養護教諭会 会誌」発行 (第 14 号)	田 尾 智 子 (平田町立平田中学校)
平 12	○ 地区別、小中交流会 ○ 「岐阜県養護教諭会 会誌」発行 (第 15 号)	高 橋 悦 子 (池田高等学校)
平 13	○ 講演「注意欠陥／多動性障害 (ADHD)・ 学習障害 (LD) 児理解～医療の立場から～」 発達協会 王子クリニック院長 石 崎 朝 世 先生 ○ 「岐阜県養護教諭会 会誌」発行 (第 16 号)	大 平 邦 子 (根尾村立根尾中学校)
平 14	○ 地区別、小中高交流会 ○ 「岐阜県養護教諭会 会誌」発行 (第 17 号)	坂 口 佳 代 子 (加納高等学校)
平 15	○ 地区別、小中高交流会 ○ 「岐阜県養護教諭会 会誌」発行 (第 18 号)	黒 木 伸 子 (笠松町立松枝小学校)
平 16	○ 講演「保健室はなぜ居心地がいいのか」 ～子どもと養護教諭自身のオアシスに～ 埼玉県公立中学校 養護教諭 金 子 由 美 子 先生 ○ 「岐阜県養護教諭会 会誌」発行 (第 19 号)	広 瀬 淳 子 (本巣松陽高等学校 岐阜校舎)
平 17	○ 地区別、小中高交流会 ○ 「岐阜県養護教諭会 会誌」発行 (第 20 号)	小 森 あ け み (大野町立北小学校)
平 18	○ 講演「小さな声を受けとめていますか」 シンガーソングライター こんの ひ と み 先生 ○ 「岐阜県養護教諭会 会誌」発行 (第 21 号)	和 田 佐 代 子 (本巣松陽高等学校)
平 19	○ 地区別、小中高交流会 ○ 「岐阜県養護教諭会 会誌」発行 (第 22 号)	原 永 子 (岐阜市立藍川北中学校)
平 20	○ 講演「寅さんとハマちゃんに学ぶ 『助け上手・助けられ上手』の心理学」 筑波大学 大学院教授 石 隈 利 紀 先生 ○ 「岐阜県養護教諭会 会誌」発行 (第 23 号)	山 川 宣 子 (加茂農林高等学校)
平 21	○ 全国養護教諭研究大会岐阜大会 記念講演 「ちょっと気になる子への理解と支援 ～一人ひとりの困り感に向き合う～」 鳥取大学 教授 小 枝 達 也 先生 ○ 「岐阜県養護教諭会 会誌」発行 (第 24 号)	黒 木 伸 子 (岐阜市立厚見中学校)
平 22	○ 地区別、小中高交流会 ○ 「岐阜県養護教諭会 会誌」発行 (第 25 号)	世 一 和 子 (大垣市立西部中学校)
平 23	○ 中部ブロック養護教諭部会代表者会 岐阜県開催 合同講演会 「これからの養護教諭に求められる力」 千葉大学 教育学部教授 岡 田 加 奈 子 先生 ○ 「岐阜県養護教諭会 会誌」発行 (第 26 号)	大 久 保 恵 子 (岐阜北高等学校)

平 24	○ 地区別、小中高交流会 ○ 「岐阜県養護教諭会 会誌」発行（第 27 号）	坂 田 祐 子 (岐阜市立陽南中学校)
平 25	○ 講演「学校における創傷処理の理論と実際」 独立行政法人国立病院機構千葉医療センター形成外科医長 輪 湖 雅 彦 先生 ○ 「岐阜県養護教諭会 会誌」発行（第 28 号）	堅 田 伸 子 (加納高等学校)
平 26	○ 地区別、小中高特交流会 ○ 「岐阜県養護教諭会 会誌」発行（第 29 号）	溝 口 尚 美 (瑞穂市立生津小学校)
平 27	○ 講演「災害時に養護教諭に知っていてほしい、できること・ できないこと～多くの児童生徒を救うための技能～」 藤沢市民病院救命救急センター センター長 阿 南 英 明 先生 ○ 「岐阜県養護教諭会 会誌」発行（第 30 号）	土 本 倫 代 (多治見高等学校)
平 28	○ 地区別、小中高特交流会 ○ 「岐阜県養護教諭会 会誌」発行（第 31 号）	高 井 かおる (山県市立美山小学校)
平 29	○ 講演「ネット・スマホ依存の現状と対応」 独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター院長 樋 口 進 先生 ○ 「岐阜県養護教諭会 会誌」発行（第 32 号）	内 木 紀 子 (大垣工業高等学校)
平 30	○ 地区別、小中高特交流会 ○ 「岐阜県養護教諭会 会誌」発行（第 33 号）	大 橋 枝 巳 (大垣市立南中学校)
令 元	○ 講演「子どもたちの多様な性のあり方に向き合うために」 岡山県南部健康づくりセンター センター長 関 明 穂 先生 ○ 「岐阜県養護教諭会 会誌」発行（第 34 号）	田 中 智保美 (大垣北高等学校)
令 2	○ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により交流会中止 ○ 「岐阜県養護教諭会 報告書」デジタル配信	日 比 薫 (垂井町立宮代小学校)
令 3	○ 中部ブロック養護教諭会 岐阜県開催 書面開催 ○ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により講演会中止 ○ 「岐阜県養護教諭会 報告書」デジタル配信	古 嶋 佳 代 (岐阜清流高等特別支援学校)
令 4	○ 地区別、小中高特交流会 ○ 「岐阜県養護教諭会 報告書」デジタル配信	川 島 あけみ (岐阜市立茜部小学校)
令 5	○ 地区別、小中高特交流会 ○ 「岐阜県養護教諭会 会誌」発行（第 35 号）	渡 部 美 佐 (大垣北高等学校)